

# 憲法を守り活かそう！「市民と野党の共同」のさらなる前進を求める アピール（案）

国民のみなさん！障害者・家族、関係者のみなさん！

私たち障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会（略称：障全協）は、本日、第55回オンライン全国集会を開催し、障害者・家族の立場から憲法改悪に反対し、暮らしと平和、民主主義を守る国民的な共同行動の一翼を担って、全力を尽くすことを確認しました。

先の総選挙で、自民党は単独で国会の安定運営に必要な絶対安定多数を確保し、第2次岸田内閣を発足させました。岸田首相は、自民党総裁選において「任期中の改憲実行」を繰り返し強調し、これを受けての自民党選挙公約に「早期の憲法改正の実現」を明記しました。総選挙の結果をふまえ、国民の信任を得たとして、安倍政権以来の改憲策動をこれまで以上に強化するとともに、当面する臨時国会において憲法審査会の開催を強行し、改憲討議を開始しようとしています。改憲の最大の狙いは9条に「自衛隊」を明記することであり、「戦争する国づくり」にあることはいまでもありません。

「戦争は大量の障害者を作り出す」「障害者は平和の中でこそ生きられる」。私たち障害者・家族は、過去の戦争での先人たちの苦しい経験を想起し、多くの国民とともに、「憲法改悪反対！」「9条・25条を守れ！」「軍拡でなく社会保障の拡充を！」の運動をすすめていかなければなりません。なによりも、国会は衆参両院ともに一部改憲野党をとりこめば、いつでも改憲可能な状況にあることから、運動の規模とスピードをこれまで以上に大きく迅速にすすめることが求められています。

岸田政権は、「新しい資本主義」による「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」をコンセプトに、「新しい資本主義実現会議」、「全世代型社会保障構築会議」「デジタル臨調行革調査会」などを設置し、危険な政策実現のための動きを活性化させています。「岸田カラー」を強調するかのようになっていますが、結局は安倍・菅前政権がすすめてきた「改革」を継承するものであり、新自由主義の経済政策を前提とした引き続きの大企業優遇・国民不在の政策検討とその具体化になることは間違いありません。

また、臨時国会では新たな国債発行による、総額約60兆円という過去最大規模の「経済対策」を提案しようとしています。18歳以下10万円相当の給付金支給、「GOTOキャンペーン」の継続、マイナンバー普及のためのマイナポイントの付与などを内容とする新たな対策が、コロナ被害と再びの感染拡大への不安をもつ国民にとって、単なる「バラマキ」で終わるのか、真の感染対策と経済支援になるのか、各党・国会への働きかけを強めていかなければなりません。

わが国の財政赤字の最大要因は社会保障であるとして、「給付と負担のアンバランス」を是正するための「全世代型社会保障改革」をさらに推し進めようとしていることも問題です。新自由主義に基づく「構造改革」が深刻な「格差・貧困」問題をつくり出し、障害者・高齢者とその家族はもちろん若者・女性など、多くの国民が「生きづらさ」に悩み苦しんでいる今こそ、社会保障の拡充が必要であり、コロナ被害への最大の支援策となることを訴えていく必要があります。また、この「改革」をふまえ、来年の通常国会に提出される障害者総合支援法改正案に対する運動も強めていかなければなりません。サービス利用者・事業者の急増が、年々、障害保健福祉予算を増額させてきていると指摘し、その削減・抑制のための法「改正」をすすめることは絶対に許されません。そもそも「基本合意」「骨格提言」を踏まえれば、障害者総合支援法改正ではなく、障害者総合福祉法こそ制定すべきことをあらためて訴えていく必要があります。なによりも、障害者権利条約にふさわしい障害者施策の実現を再びの当事者参加と共同行動で追及していくことが今日ほど求められている時はありません。

国民のみなさん！障害者・家族、関係者のみなさん！

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合と野党4党（立憲民主・共産・社民・れいわ）は、「野党協力を広げ、自公政権を倒し、新しい政治を実現することは、日本の世の中に道理と正義を回復するとともに、市民の命を守るために不可欠である」として、「憲法に基づく政治の回復」「格差と貧困を是正する」等6項目の共通政策に合意して選挙をたたかい、いくつもの貴重な成果と経験をつくりました。この市民と野党の共同を大きく強くすることが憲法を守り活かすことであり、障害者施策を含む社会保障・社会福祉の拡充につながることを確信します。

1人でも多くの国民の皆さんがこの共同に関心を持ち、私たち障全協とともに、さまざまな形で運動に参加し、来年7月の参院選で改憲反対等の審判を下すよう、強くよびかけます。

2021年11月23日  
障害者の生活と権利を守る第55回オンライン全国集会参加者一同